



【先週 12月13日～12月19日の外食の出来事】

■精養軒、最終赤字7億円 2～10月単独

精養軒が11日発表した2020年2～10月期の単独決算は、最終損益が7億3300万円の赤字だった。同期間で最終赤字は16年以来、4年ぶり。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出の自粛で客足が落ち込んだ。

■消費、5月以来の落ち込み 11月後半10.9%減、外食3割減、旅行低迷

新型コロナの感染再拡大で個人消費が低迷している。ナウキャストとJCBがクレジットカードの決済額をもとにまとめた消費データをみると、11月後半は前年同期比10.9%減。業種別にみると外食は3割減、旅行は2カ月ぶりに減少。

■バルニバービ、第1四半期(2020年8月～10月)の連結業績 減収赤字

2021年7月期 第1四半期の連結業績は売上高25億3000万円(対前年同期比17.6%減)、営業損失5800万円(-)、経常利益6900万円(同34.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億6900万円(-)であった。

■丸千代山岡家、第3四半期(2020年2月～10月)の業績 増収減益

2021年1月期 第3四半期の業績は売上高104億7900万円(対前年同期比2.0%増)、営業利益2億2600万円(同43.7%減)、経常利益2億5400万円(同40.7%減)、四半期純利益1億2500万円(同43.6%減)であった。

■東和フードサービス、上半期(2020年5月～10月)の業績 減収赤字

2021年4月期 第2四半期(2020年5月～10月)の業績を発表。売上高32億7700万円(対前年同期比41.7%減)、営業損失7億700万円(-)、経常損失5億6900万円(-)、四半期純損失1億2500万円(-)であった。

■大阪王将、たんめん老舗「横濱一品香」を買収

「大阪王将」を展開する株式会社イトアンドホールディングスが、たんめんの老舗「横濱一品香」の全株式を取得し子会社化する。12月30日に譲渡完了の予定。「横濱一品香」は横浜をメインに直営8店舗、FC2店舗を展開。

■サンマルクHD、フードテック導入で子会社設立 EC 参入も

サンマルクが、フードテック導入の検討・実証実験をする子会社、株式会社サンマルクイノベーションズを2021年1月に設立する。同社は2020年4～9月で全店売上高51.2%、10月85.7%、11月79.7%と苦戦中。

■梅の花、上半期(2020年5月～10月)の連結業績 減収赤字

2021年4月期 第2四半期の連結業績は売上高98億2700万円(対前年同期比38.8%減)、営業損失15億9400万円(-)、経常損失16億8300万円(-)、四半期純損失12億2200万円(-)であった。

■スシロー、台湾茶カフェ「シェアティー」2号店

スシローが、台湾発祥で世界に500店舗以上を展開する台湾茶『Sharetea』の日本2号店を東京・吉祥寺に12月11日(金)にオープンさせた。1号店は今年8月に新宿マルイ本館に出店した。